

# BXjscls

L<sub>A</sub>T<sub>E</sub>X 用レイアウトファイル

佐藤 健治

kenjisato.jp

令和 3 年 3 月 22 日

## 概要

L<sub>A</sub>T<sub>E</sub>X 2.3.6 が提供する **BXjscls** のサポートには改善するべきところが多いように思える。しかしながら、L<sub>A</sub>T<sub>E</sub>X のデフォルト・レイアウトを変えてくれというほどのこともないので、ひとまずユーザーレベルで解決できることを模索する。

## 1 はじめに

八登崇之氏による **BXjscls**<sup>\*1</sup> を日本語文献を書く際に利用するレイアウトファイルを紹介します。2021 年 3 月 21 日現在、L<sub>A</sub>T<sub>E</sub>X 2.3.6 には Koji Yokota 氏が作成した基本的なレイアウトがインストールされており、**BXjscls** を使った日本語文書作成が可能になっています。しかし残念ながら、**jsclass**<sup>\*2</sup> や **BXjscls** で導入されたコマンドは L<sub>A</sub>T<sub>E</sub>X の UI から利用できません（2021 年 3 月 21 日現在）。**基本的な使用についてはなんら問題ないと思いますが**、私を含めて一部のユーザーにとっては次のコマンド・環境が不足していることに不満を持つ人がいるかも知れません。

- `\subtitle`
- `abstract` 環境

この問題を解決するためのカスタムレイアウトファイルを GitHub レポジトリ `kenjisato/lyx.local` で公開していますので、インストールしてご利用ください。インストール方法は公式ドキュメントをご覧ください。なお、この資料のソースファイルは前述のレポジトリの `demo/bxjscls.lyx` です。この文書自体もそのレイアウトファイルを提供した上で L<sub>A</sub>T<sub>E</sub>X を使って作成しました。サブタイトルと概要が問題なく出力されていて、そのために ERT や特殊なブリアンブルの定義をしていないことを確認いただけたと思います。

---

<sup>\*1</sup> 八登崇之「BXjs パッケージ (BXJS 文書クラス集) ユーザマニュアル」v2.5 (2021/02/02), <https://github.com/zr-tex8r/BXjscls/blob/master/bxjscls-manual.pdf>.

<sup>\*2</sup> 奥村晴彦「pL<sub>A</sub>T<sub>E</sub>X 2<sub>ε</sub> 新ドキュメントクラス」(2020/10/09) <https://github.com/texjporg/jsclasses/blob/master/jsclasses.pdf>

## 注意

`bxjsreport` クラスにおいて、`abstract` 環境と `chapterabstract` 環境は同一ではありませんが、現在は `abstract` 環境に対するレイアウトのみ定義しています。したがって、`bxjsreport` クラスを使用した特定のケースにおいて問題が生じる可能性があります。いずれ対応します。

## 2 その他

強調のための `\strong` と `strongenv` 環境についても、さしあたり簡単なレイアウト定義を行いました。しかし、私は Logical Markup モジュールを愛用しているので `\strong` は重複しているし、`strongenv` 環境については完全に美しいレイアウト定義には至っておらず、あまり満足の行く状況ではありません。

`\strong` の方はよいとしても `strongenv` 環境については技術的に困難な部分があります。この環境は単独で段落を構成することが前提条件となっていないので、段落の途中から階段を改めることなく強調された文章を始めることができます。さらに、その文章は段落をまたぐことができます。私はこのようなスタイルを `LyX` で実現する方法を未だに見つけれられていません。結果的に、以下の 2 つから対応を選択するという状況になってしまいました。

- この環境に包まれたテキストが 1 つまたは複数の段落の全体を成すことを仮定する。
- この環境の前後や途中に改段落が必要な場合は `ERT` で `\par` を挿入する。

いずれにせよあまり美しいものではありませんが、後者の方が制約が少ないということもあり、現状は後者の方針となっています。（何より私は `ERT` が嫌いではありません。）以下、取ってつけたような例ですが、`strongenv` 環境の使用サンプルです。

こんな夢を見た。

腕組をして枕元に坐っていると、仰向に寝た女が、静かな声でもう死にますと云う。女は長い髪を枕に敷いて、輪郭の柔らかな瓜実顔をその中に横たえている。真白な頬の底に温かい血の色がほどよく差して、唇の色は無論赤い。とうてい死にそうには見えない。しかし女は静かな声で、もう死にますと判然云った。

あいうえお

## 3 さらにマイナーな話題

`jsclass` で導入されている `\和暦`、`\西暦` コマンドは `BXjscls` でも使用できます。現状、`\today` を日本語ドキュメントクラスで実行すると 2021 年 3 月 22 日のような西暦表示になりますが、`\和暦{\today}` のようにすれば令和 3 年 3 月 22 日 のように和暦で表示することが可能です。しかし、そもそも `LyX` は `\date` に対するインターフェースを提供していないようなので<sup>\*3</sup>、`\和暦`、`\西暦` コマンドに対応する Flex Inset を作っても `\today` を直接入力する必要があります。結局、ほとんど使われることがなさそうな機能でメニューを賑わすよりも、おとなしく `ERT` を使ってもらう方がいいのかな、と今は感じています。

---

<sup>\*3</sup> `LyX` は編集時点の当日日付をテキストとして挿入する UI を提供していますが、コンパイル時の当日日付を自動的に挿入する `\today` コマンドを挿入する UI（ややこしい）は提供していません。`\date` フィールドを書かなければ自動的にコンパイル時の日付が挿入されますし、コンパイルのたびに更新されても困るから固定日付を書いておくというケースも多いので、`\today` コマンドの挿入はレアケースということでしょう。